ホームページのヘッダーをスマホ 対応にしてみよう(CSS編)

<u>小西プログラミングオンライン塾</u>

この教材でできること

- ・レスポンシブについて理解できる
- ・スマホ対応のヘッダーにできる



ホームページのヘッダーのCSS部分をスマホの画面の大き さの場合はメニューバーに変更するようにする



①CSSとHTMLの連携をさせよう ②CSSコードでレスポンシブ対応をする



②CSSコードでレスポンシブ対応をする

このページではレスポンシブ対応するためにHTMLとCSSの ファイルを連結させるよ

Inea	
	<meta charset="utf-8"/>
	<meta content="IE=edge" http-equiv="X-UA-Compatible"/>
	<meta content="width=device-width, initial-scale=1.0" name="viewport"/>
	<meta content="width=device-width,initial-scale=1.0,minimum-scale=1.0" name="viewport"/>
	<title>ヘッダー設定</title>
	<link href="header.css" rel="stylesheet"/>
	<link href="headerres.css" rel="stylesheet"/>
<td>ead></td>	ead>

レスポンシブはCSSファイルで行うか らCSSファイルを新しく作ろう テキストでは「headerres.css」とい う名前にしたよ

✓ RESCSS

- ≡ ~\$resHTML.pptx
- # header.css
- header.html
- # headerres.css

Freshtml.pptx

HTMLのファイルを開いてheadタグを見てみよう

🕗 nead	aer.n	ntmi > 🗇 ntmi > 💬 body	
1	<ht< td=""><td>ntml></td><td></td></ht<>	ntml>	
2		<head></head>	
3		<meta charset="utf-8"/>	
4		<meta content="IE=edge" http-equiv="X-UA-Compatible"/>	
5		<meta content="width=device-width, initial-scale=1.0" name="viewport"/>	
6		<meta content="width=device-width,initial-scale=1.0,minimum-scale=1.0" name="viewport"/>	
7		<title>ヘッダー設定</title>	
8		<link href="header.css" rel="stylesheet"/>	
9			
10			
11		<body></body>	
12		<pre><header></header></pre>	
13		<pre><div class="header-right-sp"></div></pre>	
14			
15			
16			



写真の「href = ""」の中には何が入るか考えて入れてみよう ※考えてから次のスライドに進んでみよう!

<ne <<="" th=""><th></th></ne>	
	<meta charset="utf-8"/>
	<meta content="IE=edge" http-equiv="X-UA-Compatible"/>
	<meta content="width=device-width, initial-scale=1.0" name="viewport"/>
	<meta content="width=device-width,initial-scale=1.0,minimum-scale=1.0" name="viewport"/>
	<title>ヘッダー設定</title>
	<link href="header.css" rel="stylesheet"/>
	k rel="stylesheet" href=' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' '
<th>ead></th>	ead>



全部入力できたかな?さっき作ったファイルを連携させるためのコードだよ ※リンク先は何でもいいよ

SH	
	<meta charset="utf-8"/>
	<meta content="IE=edge" http-equiv="X-UA-Compatible"/>
	<meta content="width=device-width, initial-scale=1.0" name="viewport"/>
	<meta content="width=device-width,initial-scale=1.0,minimum-scale=1.0" name="viewport"/>
	<title>ヘッダー設定</title>
	<link href="header.css" rel="stylesheet"/>
	<link href="headerres.css" rel="stylesheet"/>
</th <th>/head></th>	/head>

これで連結は終わりだよ 次はCSSのコードを使ってレスポンシブ対応をしてみよう



②CSSコードでレスポンシブ対応をする

②CSSコードでレスポンシブ対応をする

このページではレスポンシブ対応を実際にしてみるよ

<u>小西プログラミングオンライン塾</u>

CSSコードに下記を追加してみよう



画面の横幅を変えてある一定の幅より小さくしたらヘッダーがな くなったか確認してみよう

画面フルサイズバージョン

小西プログラミングオンライン塾

申込フォーム よくあるご質問 お問い合わせ 小西プログラミングオンライン塾の強み コース情報 授業科について 授業形式 キャンペーン情

│ 小西プログラミングオンライン塾の強み │ コース情報 │ 授業料について │ 授業形式 │ キャンペーン情報







@media screen and (max-width:900px) {

画面の大きさを表しているよ

<u>横幅</u>が<u>900px</u>より小さい(<u>最大で900px</u>) ときに{}の中のコードを実行する



他にも以下のようなものがあるよ必要に応じて使い分けよう ・@media screen and (min-width: 600px) {} <u>横幅が600px</u>より大きい(<u>最小で600px</u>)ときに{}の中のコードを実 行する



他にも以下のようなものがあるよ必要に応じて使い分けよう ・@media screen and (min-height: 500px) {} 縦幅が5<u>00px</u>より大きい(最小で500px)ときに{}の中のコードを実 行する



他にも以下のようなものがあるよ必要に応じて使い分けよう ・@media screen and (orientation: portrait) {} デバイスの画面が縦向き(ポートレート)である場合に{}の中を実 行する



他にも以下のようなものがあるよ必要に応じて使い分けよう ・@media screen and (orientation: landscape) {} デバイスの画面が横向き(ランドスケープ)である場合に{}の中を 実行する



他にも以下のようなものがあるよ必要に応じて使い分けよう ・ @ media screen and (min-aspect-ratio: 16/9) {} 画面の横幅に対する縦幅の比率(アスペクト比)が16:9以上の場合 に{}の中を実行する



他にも以下のようなものがあるよ必要に応じて使い分けよう ・

・

endia screen and (min-resolution: 300dpi) {}
画面の解像度が300dpi以上の場合に{}の中を実行する

<u>※他にもいっぱいあるから気になったらネットで検索して調べてみよう</u>

レスポンシブコードに追加してみよう ※さっき書いたコードの上に書いていってね





.menu-trigger span:クラス名「menu-trigger」の中にあるspan タグを指す





- ・display: inline-block:要素は幅や高さを 設定でき、他の要素と同じ行に並べること ができる
- ・transition: all .4s:0.4秒のアニメーション効果を適用することができる

1	.menu-trigger,
2	.menu-trigger span {
3	display: inline-block;
4	transition: all .4s;
5	}
6	
7	@media screen and (max-width:900px) {
8	
9	.question{

2

次は下のコードを書こう これはメニューバーの棒の設定をしてるよ



質問

7~9行目はどんな意味のコードか考えてみよう ※考えてから次のスライドに進んでみよう!

6	
7	.menu-trigger span:nth-of-type(1) {
8	top: 0;
9	}
10	<pre>.menu-trigger span:nth-of-type(2) {</pre>
11	top: 8px;
12	}
13	.menu-trigger span:nth-of-type(3) {
14	bottom: 0;
15	}
16	
17	<pre>@media screen and (max-width:900px) {</pre>



・.menu-trigger span:nth-of-type(1) : 「menu-trigger」クラスのspanタ グを指してnth-of-type(1) で1番目のspanタグを指すよ



小西プログラミングオンライン塾

メニューバーが押されたときの処理を行うよ!



メニューバーが押されたとき(active状態)になった時に実行される コードで1つ目と3つ目の棒を×にしてメニューバーに寄せてる よ!

2つ目の棒は消してるよ!

```
.menu-trigger.active span:nth-of-type(1) {
17
         -webkit-transform: translateY(10px) rotate(-315deg);
18
         transform: translateY(10px) rotate(-315deg);
19
21
     .menu-trigger.active span:nth-of-type(2) {
22
23
         opacity: 0;
     .menu-trigger.active span:nth-of-type(3) {
         -webkit-transform: translateY(-8px) rotate(315deg);
27
         transform: translateY(-8px) rotate(315deg);
29
20
     @media screen and (max-width:900px) {
31
32
```

次は通常時はメニューバーの棒を隠していくコードを書くよ



次はメニューバーの棒のデザインを書いていくよ!

35 36 37	<pre>.menu-trigger { margin:9px; z-index: 5; </pre>
20	width: 25px:
40	right: 0;
41	height: 22px;
42	}
43	
44	.menu-trigger span {
45	position: absolute;
46	left: 0;
47	width: 100%;
48	height: 4px;
49	background-color: 🗖 #008080;
50	border-radius: 4px;
51	}
52	
53	@media screen and (max-width:900px) {
54	

写真のようにメニューバーが出てくるようなったかな?



次は目乳表示の部分についてコードを書いていこう!

Г	53	.menu2_Res {
	54	display: none;
	55	<pre>transform: translateY(10px);</pre>
	56	text-align: center;
	57	<pre>position: fixed;</pre>
	58	<pre>background-color: white;</pre>
	59	height: 100%;
	60	width: 100%;
	61	top: -10px;
	62	z-index: 3;
	63	}
	64	
	65	@media screen and (max-width:900px) {
	66	



transform: translateY(10px): 垂直方向(上下)に10ピクセル移動さ せるCSSプロパティ



小西プログラミングオンライン塾

webページがメニューバーだけになったかな?



次は「menu2_Res」クラスの中の いろんなタグについてコードを書 いていこう!

04	
65	.menu2_Res ul {
66	padding: 0;
67	position: relative;
68	top: 4rem;
69	}
70	.menu2_Res li {
71	list-style-type: none;
72	border-top: 1px dashed;
73	border-bottom: 1px dashed;
74	padding: 1rem 0;
75	}
76	.menu2_Res a{
77	text-decoration: none;
78	color: 🗆 black;
79	padding: 10px;
80	}
81	
01	
82	@media screen and (max-width:900px) {

最後に写真の行を書いてみよう





display: block: 横幅いっぱいに広げる



次のテキストでJAVAscript(js)というプログラミング言語を使って メニューバーを完成させていくよ!

お疲れさまでした

テキストは終了です。 あとは自分なりにアレンジを付け加えていこう!